
とっても不思議な物語

語り部

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とっても不思議な物語

【Nコード】

N8468Z

【作者名】

語り部

【あらすじ】

皆様が求めている非日常がそこにあるはず。

語り部Aを自称する男の日常は私達にとっての非日常。

だってまず人は死にますよね？今の質問に疑問を感じた方は第一章だけでも読んでいただきたいです・・・

序章―語り部を自称する男の物語―

日差しがまぶしい朝。

社会人は、職場へ向かい、学生は学校へ向かう。

それは、俺にとっても例外では無く、その為こうして電車にゆられているわけだ。

俺は、普通の公立高校に通う高校1年生だ。

名前？そんな物は関係ない。

そうだな、呼び名が必要なら「語り部A」とでもしていてくれ。

なぜ「語り部A」かって？

なぜなら今から俺は俺の周りに起きた、いや、起きている？不思議な現象について、君達にこの乗車中の暇な時間を使って話そうと思っ
っているからだ。

気にならないって？君たちはライトノベルや携帯小説が好きな人種ではなかったのか？

携帯やライトノベルが何の関係があるって？

そうそう、君達が読んでいる本の世界は、君達の世界と同じだったか？

そう、違う。

なら、何が違った？

何の為に読んでる？

まあ答えは簡単だよな。

君がほしがってる、読みたがってる、聞いたがってる物は、、、
「非日常」だろ？

それを俺が提供してやる。

だから、君達はそれを他人に語ることなく君達の「非日常」として
楽しんでくれ。

他言無用だぞ？

絶対に語ってはいけない。

もしその話が伝染してこの話が広まってしまったときは・・・
どうなるのかって？

怖いのか？

恐怖したのか？

臆したか？

だったらこの話を聞く資格はないな。

なぜなら今から語るのは少女少女の青春を壊した、命がけで、とても残酷で、けどハッピーエンドな物語だ。

ん？ハッピーエンドならいいんじゃないかって？

ふう、君はあれかどんなに行く道がたらくても終わりよければすべてよしってタイプか？

まあいいけど。

前置きが長くなったな。

ではでは、話を始めよう。

そうだな、1人目は誰がいいだろう。

うーんやっぱりこの話だな。

非日常感がすごくある。

タイトルをつけるとするなら・・・

「死を知らない先輩」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8468z/>

とっても不思議な物語

2011年12月26日21時07分発行